

## 第 61 回兵庫県献血推進協議会（議事要旨）

1 開催日時 令和7年3月4日（火）午後1時30分～3時00分

2 開催場所 兵庫県薬剤師会館4階会議室

3 出席委員	副会長	八田 昌樹	委員	野村 めぐみ
	委員	北野 貞	委員	大西 あけみ
	委員	海保 雅一	委員	錦織 千佳子
	委員	後藤 武	委員	伴 智代
	委員	藤盛 好啓	委員	折田 環
	委員	小島 雅代	委員	豊川 聡
	委員代理	石井 奈穂子		

### 4 事務局等出席者

(1) 県（事務局）

波多野保健医療部次長 小田薬務課長 他（計5名）

(2) その他

兵庫県赤十字血液センター（2名） 保健所設置市（2名）

### 5 報告事項

(1) 献血者数等の状況について

(2) 年代別献血状況について

(3) 献血普及啓発事業等の実施状況について

#### 【委員からの意見等】

現在、献血にご協力いただいている方の半数近くは50代以上の方で、数年後には卒業される方が多数いらっしゃるの、教育現場でも中学・高校時代から献血セミナー等を教育の中に取り入れていただき、献血への関心を高めていくことにご協力いただきたい。

(4) 血液製剤の適正使用等の推進状況について

委員からの質問等はなし。

(5) 造血幹細胞移植の普及啓発の推進等について

#### 【委員からの意見】

ア 昨年度から日赤近畿の供給本数が減っている理由は把握しているか。

（委員回答）

移転に伴う引越作業によるものとする。現在は、整備が完了している。

## 6 協議事項

### (1) 令和7年度兵庫県献血等推進計画（案）について

#### 【協議結果】

原案どおり承認

#### 【委員からの意見】

ア 小さな頃から献血ルームに行くことで、献血ルームに行くハードルが下がると思うので、「親子連れ献血」を実施してはどうか。

またお子様が「付いて行きたい」と思うような取組みを検討いただきたい。

(事務局回答)

他府県の血液センターの中には、月に1～2回、ボランティアの方が子供のお世話をしている間に親が献血に参加する取組みもあるが、兵庫県ではまだ実施していないので、今後検討したい。なお、新長田、塚口、西北、みゆき献血ルームにはキッズスペースや遊具が設置されており、子連れで献血に来やすい体制を作っているところ。

また、「親子献血」については、令和6年度に親子で献血をすると記念品をプレゼントする企画を実施した。こちらは、今後も継続していきたい。

イ 献血ルームがあっても、用事があつてなかなか寄れないことが多い。そういう面で敷居が高いので、企業、団体、学校に献血バスを配車する余裕はあるのか。

(事務局回答)

バスの台数、人員の関係で、現在より極端に多く配車することは難しいが、調整しながら配車することは可能。

ウ 「はたちの献血」について、成人が18歳になったので「はたち」にこだわらず、卒業又は入学記念献血を実施する等18歳に働きかけることを検討してもいいのではないか。

(事務局回答)

「はたちの献血」については、国の事業である。兵庫県赤十字血液センターは「はたち」にはこだわっていない。

エ 明石の献血ルームが閉所したため、明石の市民広場で実施する献血には親子連れや若い方の参加が多い。明石に献血ルームができるのが理想ですが、難しいのであれば、献血バスの配車をもう少し増やすことはできないか。

(事務局回答)

明石の献血ルームの新設については、適切な広さや設備が必要であり、それに見合う物件があるかというところが問題となっている。

現在、明石の市民広場では年間2回、献血バスを配車し、献血をしており、若い方のご協力も多い。今後、検討する。